

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成28年11月10日(2016.11.10)

【公表番号】特表2015-529586(P2015-529586A)

【公表日】平成27年10月8日(2015.10.8)

【年通号数】公開・登録公報2015-063

【出願番号】特願2015-532175(P2015-532175)

【国際特許分類】

B 41 M 5/00 (2006.01)

B 41 M 5/50 (2006.01)

B 41 M 5/52 (2006.01)

B 41 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 41 M 5/00 B

B 41 J 2/01 501

【手続補正書】

【提出日】平成28年9月15日(2016.9.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1面を有する基材と、前記基材の前記第1面の少なくとも一部分上にあるインク受容層と、を備える水性インク用印刷媒体であって、

(1) 前記インク受容層は、第1樹脂成分組成物と第2樹脂成分組成物との混合物のミクロ相分離により画定される印刷面を有し、

(2) 前記第1樹脂成分は親水性であり、

(3) 前記第2樹脂成分は、四級化されたアミノ基を有するアクリルポリマーを含み、熱接着特性を示し、

前記印刷面は、第1ドメインと第2ドメインとのマトリクスからなり、前記第1ドメインの多数部分は第1樹脂成分であり、前記第2ドメインの主要な部分は第2樹脂成分であり、前記第2ドメインは、それぞれの第1ドメインを実質的に囲んでおり、前記第2ドメインは、相対的に凸状である、水性インク用印刷媒体。

【請求項2】

請求項1に記載の印刷媒体を製造する方法であって、

(1) 第1面を有する基材を提供する工程と、

(2) 第1樹脂成分組成物及び第2樹脂成分組成物の混合物を提供する工程と、

(3) 前記混合物を、前記基材の前記第1面の少なくとも一部分に塗布して、その上にコーティングを形成する工程と、

(4) 第1樹脂成分及び第2樹脂成分のミクロ相分離が起こり、第1ドメインと第2ドメインとのマトリクスからなる印刷面を生じるように、溶媒を前記コーティングから取り除く工程であって、前記第1ドメインの多数部分は第1樹脂成分であり、前記第2ドメインの主要な部分は第2樹脂成分であり、前記第2ドメインは、それぞれの第1ドメインを実質的に囲んでおり、前記第2ドメインは、相対的に凸状である工程と、を含む、方法。

【請求項3】

塗布液は、前記第1樹脂及び前記第2樹脂からなる樹脂微粒子を含む懸濁液である、請

求項2に記載の方法。